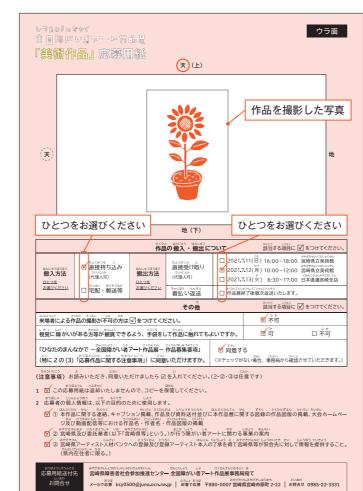
応募用紙 記入例 美術作品



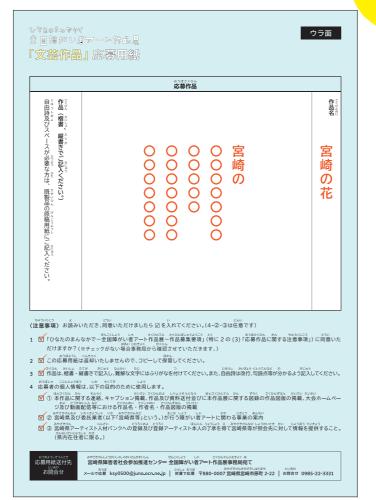


応募用紙 記入例 文芸作品



さくしゃ おうぼさくひんじょうほう いちゃてこかい 作者・応募作品情報 (一部公開)					
さくひんがもん 作品部門 いずれかに〇	短歌	・俳句		845005 こがり 居住地 (公開)	
	・川柳 ・自由詩(400字以内)		宮	崎 都·道	
さくしゃしめい 作者氏名	ふりがな	ミヤザキ	ハナオ	20.721. 年齢	#いさくなん #5488 制作年(西暦)
ベンネーム n。イニシャルは たいな ご遠慮ください。 このかい (公開)		宮崎	花男	40 _{&}	2020 ≌
しゅべつ 障がい種別 1003年 『Alberto』 重複する場合複数に〇	知的 (身体精神	u p < 5±3b< 視覚 聴覚	************************************) こうがい 公開しません

(※ウラ面もご記入ください)



作品募集

応募用紙締め切り **2021**年 **4**月 **16**日(金)

展示期間 2021年7月2日(金) -7月11日(日)10:00~18:00 (最終日のみ15:00まで)

主 催 厚生労働省 文化庁 宮崎県 宮崎県教育委員会

第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 宮崎県障害者社会参加推進センター

<mark>※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が一</mark>部変更となる可能性がありま<mark>す。</mark>

※同年11月13日(土)から和歌山県で「第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会」全国障害者作品展が開催されます。

作品展の流れ





第35回国民文化祭・みやざき2020 第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会





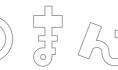


音声コードUni-Voice 専用読み取り 装置やスマホアブリを利用して情報を 音声で聞くことができます



























- 募集要項 -

1. 募集内容

(1) 募集対象 国内外を問わず、障がいのある方あるいは障がいのある方を含むグループが共同で制作したアート作品。

ただし、美術作品は、過去に受賞歴のないものとします。

(2) 募集作品 美術作品(絵画、版画、写真、書、陶芸、彫刻、工芸、手芸など)

文芸作品(短歌、俳句、川柳、自由詩など)

| 2. 募集作品について | 1制作者につき(作品区分ごとに)2点以内とします。(例:美術作品2点、文芸作品2点 計4点)

応募作品は原則全作品展示の予定ですが、会場の都合等で調整する場合があります。

(1)美術作品 審査を行います。

[平面作品] 額装して縦横1m以内、総重量10kg以内

- 額装をしてください。
- 表面カバーはガラスは不可とします。カバーを付けないか、アクリル板を使用してください。
- フックにかけられるよう、ひも等を必ず付けてください。

[立体作品] 高さ、幅、奥行き全て1m以内、総重量30kg以内 ※組作品は2m内とします。

● 小さく、数多くの作品をまとめて1つの作品とする物に関しては、全て並べたときの大きさを応募用紙に記入してください。

(2) 文芸作品 審査は行いません。

- 出品者の作品は、冊子にまとめ文芸作品集として来場者等に配布するとともに、公式ホームページに掲載します。 「会場ではスクリーンで
- 自由詩は既製品の原稿用紙(20字×20字=400字詰)に記載して提出してください。(原稿は返却しません。) スライドショー形式で展示します。
- (3) 応募作品に関する注意事項 (同意の上ご応募ください。)

① 応募作品の著作権は作者本人に帰属しますが、主催者は作品の複写写真の版権を第35回国民文化祭、第20回全国障害者 【著作権等】 芸術文化祭に関することに限り使用できるものとします。

- ② 他者の著作権や肖像権に抵触する作品は対象外とします。
- ③ 第三者の肖像、プライバシー及び著作物等を含む応募作品については、応募及び主催者による利用について、当該権利者から 事前に使用承諾・承認を受けた上で応募してください。主催者は応募作品の利用によって、応募者および第三者に生じた一切 の損害について責任を負いかねます。

【応募作品の扱い】 作品の取扱いには万全を期しますが、万一損傷が発生した場合は、保険適用の範囲内で対応させていただきます。

【個人情報の取扱い】 応募者の個人情報は、以下の目的のために使用します(②・③は任意です。別紙応募用紙にてご回答ください。)

①本作品展に関する連絡、キャプション掲載、作品及び資料送付並びに本作品展に関する図録の作品図版の掲載、大会ホーム ページ及び動画配信等における作品名・作者名・作品図版の掲載。②宮崎県及び委託業者(以下「宮崎県等」という。)が行う障 がい者アートに係る事業の案内。③(県内の方に限る)宮崎県アーティスト人材バンク※への登録及び登録アーティスト本人の了 承を得て宮崎県等が照会先に対して情報を提供すること。

※「宮崎県アーティスト人材バンク」とは、宮崎県内で芸術文化活動に取り組む障がいのある方の情報を宮崎県障がい者芸術文化支援センターにおい て集約し、必要に応じて情報提供等を行うもので、アーティストの皆さんの活動機会の拡大を目的としています。

【その他】

- ① 生花など生鮮物を用いた作品、火器などの危険物を用いる作品は不可とします。
- ② 受賞歴のある作品(文芸作品以外)であることや、著作権等第三者の権利を侵害すること等が判明した場合、入選や受賞を 取り消すことがあります。

3. 応募方法

本募集要項を全てお読みいただき、同意いただいた上で、応募用紙に作品を撮影した写真を添付してFメールまたは封書のいずれかでお送りください

本务未安均包主(40 凯07)	<mark>いたださ、向息いだだいだエ(、</mark> 応券用紙にTF四で撮影した子具で添削して <mark>ピメールまだは封書のいりれが</mark> であ <mark>とり</mark> へださい。			
(1) 応募用紙受付期間	2021年3月19日(金)~4月16日(金)			
(2) 応 募 料	無料			
(3) 応募用紙に 関する注意事項	 ① 応募用紙は美術作品と文芸作品で異なります。 ② 応募用紙のみ受け付けます。作品現物は送付しないでください。4(1)の搬入期間及び場所以外に作品現物が届いた場合は送料着払いにて返送いたします。作品搬入については4をご覧ください。 ③ 応募用紙をコピーして使用する場合は、大きさを変更しないでください。 ④ 複数の作品を応募される場合は、1作品ごとに応募用紙を作成し、まとめてお送りください。また合計の応募作品数を、Eメールの場合は本文に記載、郵送の場合は封筒裏面に「合計○点」と赤で記載してください。 ⑤ 応募用紙はコピーをとり、お手元に保管してください。応募用紙及び作品写真の返却はいたしません。 ⑥ 応募用紙は第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会ホームページ(https://www.pref.miyazaki.lg.jp/miyazaki2020/)からもダウンロードいただけます。 			

4. 作品の搬入・搬出について

- ※詳細は応募用紙受付後に文書にて 案内いたします。
- ※搬入搬出に係る費用(梱包、往復 配送料等)は応募者負担となります。 文芸作品は応募時点で作品を提出いただき ますので不要です。

(1) 搬入について 【搬入期間】 2021年6月17日(木)~23日(水) 各日8:30~17:00

【搬入場所】 日本通運株式会社宮崎支店(〒880-0833宮崎市昭栄町67番地) 【搬入方法】 上記搬入場所に直接持ち込むか宅配・郵送等でお送りください。

(2) 搬出について 【「直接受け取り」をご希望の方】①~③のいずれかで搬出ください。

①2021年7月11日(日) 16:00~18:00 宮崎県立美術館地下搬出口 ②2021年7月12日(月)10:00~12:00 宮崎県立美術館地下搬出口 ③2021年7月13日(火) 8:30~17:00 日本通運株式会社宮崎支店

【「着払い返送」をご希望の方】作品展終了後順次返送いたします。

く搬紙 (実面)

5. 審査について

(1) 審査方法 全ての美術作品を対象に、審査員による現物審査を経て、大賞1点/部門賞5点/奨励賞10点(予定)を選出します。 審査結果は7月2日(金)以降文書・大会ホームページ等で通知するとともに、会場にて掲示いたします。

(2) 受賞特典 (予定)

大 賞 授賞式へのご招待(8月7日(土)メディキット県民文化センターで開催されるイベント「"こころ"のふれあうフェスタ」内、交通費等は主催者負担) 宮崎県の県産品等(50,000円相当)の贈呈。

入賞作品は芸文祭の図録に 部門賞 宮崎県の県産品等(30,000円相当)の贈呈。

全 部

門

奨励賞 宮崎県の県産品等(3,000円相当)の贈呈。

掲載される予定です。

※賞品内容は変更になる可能性があります。



写 真

立

体

審査員



中津川 浩章 Hiroaki Nakatsugawa

美術家/アートディレクター/キュレーター

1958年静岡県生まれ。国内外でライブペインティング、アート WS、レクチャー、展覧会を実施。アート、福祉、教育などさ まざまな分野で社会とアートの関係性を構築。川崎市岡本太郎 美術館「岡本太郎とアールブリュット」展キュレーション、日本 財団 DIVERSITY IN THE ARTS公募展ほか多くの公募展に 携わる。同 表現活動研究所ラスコー代表、NPO法人エイブ ル・アート・ジャパン理事、一般社団法人Get in touch理事、 一般社団法人 Art InterMix代表。



池田 昭圭 Syoukei Ikeda 平 画家/日本美術家連盟会員 面

1936年宮崎県都城市生まれ。佐賀大学 教育学部特設美術科卒業。1997年まで 宮崎県内の高等学校5校に勤務。県内各 地の美術展の審査員を勤める。日本美術 家連盟会員、新象作家協会会員、宮崎県 美術協会理事、宮日総合美術展無鑑査。



齋藤 泉 Izumi Saito

肢体不自由な身には、自由きままに動き回る猫の姿は、あこがれそのもの。 21歳に油絵指導を受け、その後専らアクリル画で大好きな猫の絵を中心 に創作している。斎藤の絵は、肉太の黒い線で縁どり、塊として捉えた 対象に感じたまま原色に近い色を使う。100号サイズとなれば、畳の上 で這いつくばり描いている。1986年に二科展入選。2007年にル・サロ ン展入選。



小河 孝浩 Takahiro Ogawa

年日本広告写真家協会正会員。)

1961年宮崎県西米良村生まれ、在住。中1から写真を撮り始める 1988年、東京でコマーシャルフォトグラファーとして独立。2001年、西 米良村に帰郷以後、村をテーマにした写真集、写真展の発表を続けてい る。著書5冊。「結いの村」(石風社刊)で宮日出版文化賞を受賞(2013



泰田 久史 Hisashi Yasuda 陶芸家/宮崎学園短期大学教授

1964年宮崎県生まれ。小学校、中学校美術教諭を経て陶芸家として独立 日本現代工芸展「現代工芸賞」、現代工芸九州会展 大賞、第1回「青木龍 山賞 | 受賞など。宮崎県内を代表する古窯 「小峰焼 | の調査、復元などの 取り組みや後進の育成等により地域社会奉仕賞「シェルドン賞」受賞、 2014年宮崎県文化賞(芸術部門)受賞他



今井 美恵子 Mieko Imai

宮崎県国富町出身。宮崎にて特別支援学校の教員として18年間勤務。教員時 代は、様々な障がいのある子ども達と向き合い、自分の想いや考えをうまく表 現することが難しい子ども達の内言語(心の声)に耳を傾け言語化することに 力を注いできた。2015年教育の現場を辞し、「宮崎から世界へ」と目標を掲げ 宮崎を拠点に書道家一筋で活動を始める。NY・ミラノ等多くの海外で個展や 書道パフォーマンス、ワークショップを開催。2019年第1回アートマカオでは、 ジャパンパビリオンオープニングパフォーマンスに抜擢され好評を得た。

応募用紙送付先・お問合せ

宮崎県障害者社会参加推進センター 全国障がい者アート作品展事務局宛て 〒880-0007宮崎県宮崎市原町2-22 Tel 0985-22-3331 / Mail ksy0500@juno.ocn.ne.jp

-2-

-3-